

平成23年3月22日

東北地方太平洋沖地震における広島大学の対応について

3月11日午後に発生した東北地方太平洋沖地震により、未曾有の被害が出ています。被災された皆様に心よりお悔やみ申し上げますとともに、お見舞い申し上げます。

1日も早い復旧と皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

広島大学では、災害対策本部を3月14日（月）に設置し、このたびの地震により被災された皆様に対して下記のとおり、できうる限りの支援を行う所存です。

記

1. 安否の確認について

現在、関東以北に実家等がある学生を対象に広範囲にわたって安否確認を続けています。

調査対象学生553人のうち、現在までに536人の無事を確認しており、17人について引き続き調査中です。

【本件に関するお問い合わせ先】

財務・総務室 総務グループリーダー 佐藤

TEL：082-424-6011

2. DMAT（災害派遣医療チーム）の被災地への派遣

厚生労働省および文部科学省からの要請により、3月11日（金）広島大学病院からDMAT（災害派遣医療チーム＝医師2人、看護師2人、薬剤師1人）を筑波メディカルセンター病院へ派遣しました。DMATは、福島県にある福島県男女共生センター及び福島県立医大病院で医療活動を行い3月15日広島大学病院に帰着しました。

【本件に関するお問い合わせ先】

大学病院 総務グループリーダー 熊谷

TEL：082-257-5004

3. 緊急被ばく医療派遣チームの派遣

本学は、平成16年に原発事故などの際に重症患者の治療を行う緊急被ばく医療の拠点として、西日本の「3次被ばく医療機関」に指定されています。

今回の地震による原子力緊急事態宣言を受けて、本学では緊急被ばく対策委員会（委員長：緊急被ばく医療推進センター長（神谷研二 原爆放射線医科学研究所長））を3月12日設置し、救命救急医、放射線障害・

医療の専門医を待機させています。

医療スタッフの派遣については、3月12日、医師、放射線専門家、看護師ら計7人の緊急被ばく医療チームを放射線医学総合研究所（千葉県）に派遣しました。また、3月16日には、第二班の緊急被ばく医療チーム（医師2人、放射線技師2人、看護師2人、事務職員2人）を、次いで3月19日に、第三班の緊急被ばく医療チーム（医師2人、放射線技師1人、看護師1人、事務職員2人）を、さらに本日（3月22日）、第四班の緊急被ばく医療チーム（医師3人、放射線技師1人、看護師1人、事務職員2人）を福島県の活動拠点に派遣しました。

【本件に関するお問い合わせ先】

緊急被ばく医療推進センター 東（あずま）

TEL：082-257-5398

4. 被災学生・保護者への支援について

(1) 経済的支援について

被災された世帯の学生に経済的な相談に応じる窓口を設け、相談に対応しています。

- 学費・経済的事情による相談
- 奨学金に関する相談

【本件に関するお問い合わせ先】

広島大学教育室経済支援グループ

- ・学費・経済的事情に関すること : 082-424-6163
- ・奨学金に関すること : 082-424-6169

(2) 入試、入学手続き等について

一般入試（前期日程）合格者の入学手続きについて

入学手続きは3月15日（火）17:00必着となっており、このたびの地震の影響で手続期間内に手続きを完了できない方への対応を図っておりましたが、15日無事完了しました。

また、後期日程を受験できない方（9人）に対し、追試験を3月17日に実施しました。

【本件に関するお問い合わせ先】

広島大学入学センター

TEL：082-424-6174

5. 義援金について

広島大学では、被災地域への見舞いのため、学生・教職員が一体となって募金活動を実施しています。募金箱は、法人本部や大学病院等に設置しています。またホームページでも、広く募金を呼びかけていますので、ご協力をお願いします。

【本件に関するお問い合わせ先】

財務・総務室 総務グループリーダー 佐藤

TEL：082-424-6011